

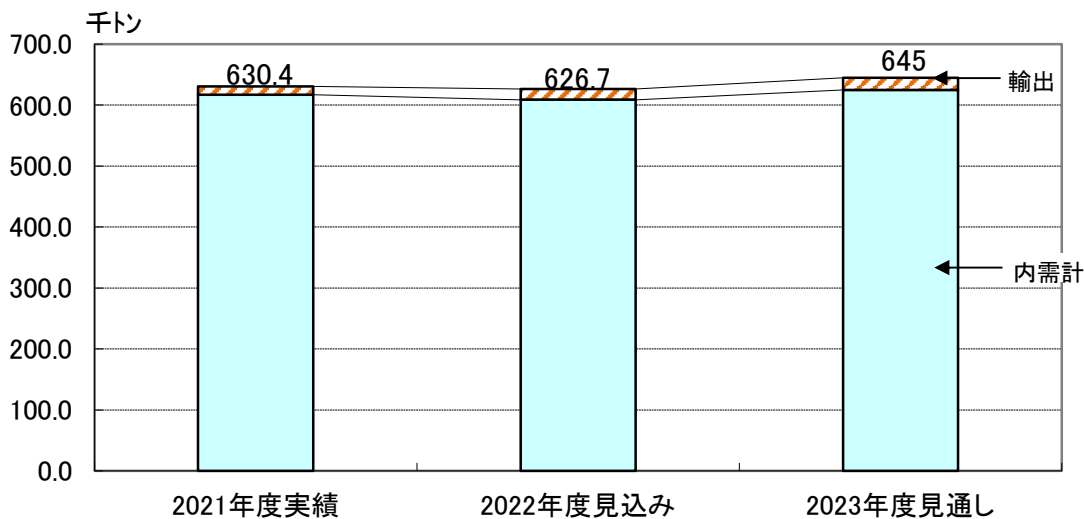
2023年度 電線需要見通し概要

2023年3月
調査統計専門委員会

1. 2023年度需要見通しの前提

実質GDP成長率	+1.6%
民間最終消費支出	+1.6%
民間企業設備投資	+3.4%
民間住宅投資	+0.8%
鉱工業生産指数	+5.1%

2. 2023年度電線需要予測結果



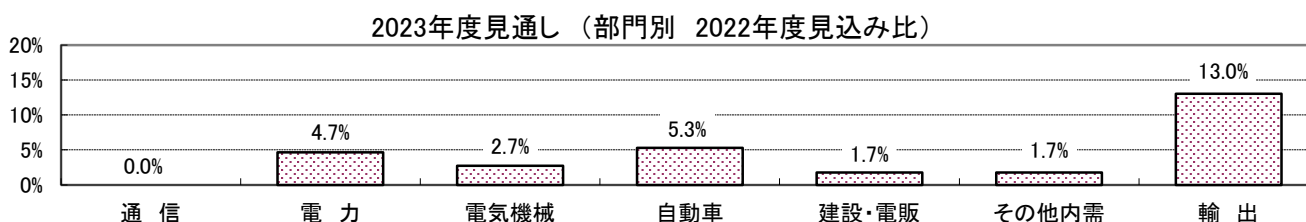
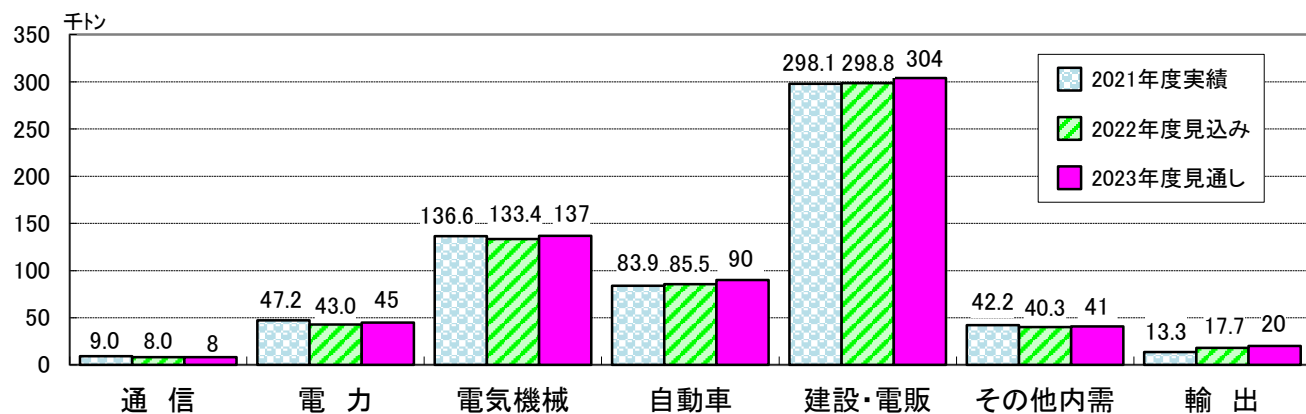
単位:千トン

銅電線	2021年度実績	2022年度見込み	22/21 伸び率	2023年度見通し	23/22 伸び率
内需	617.1	608.9	-1.3%	625	2.6%
輸出	13.3	17.7	33.1%	20	13.0%
合計	630.4	626.7	-0.6%	645	2.9%

単位:千トン

アルミ電線	2021年度実績	2022年度見込み	22/21 伸び率	2023年度見通し	23/22 伸び率
合計	26.4	22.1	-16.3%	23	4.1%

3. 2023年度各需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	2022年度は、データセンター需要はあるものの、通信インフラ環境の光化は継続しており、メタルケーブル減、同軸が伸びず減と見込む。 2023年度は、5Gの普及需要を含めた通信インフラ環境の光化は継続するものの、大手通信事業者向けの需要も維持するとみて、横ばいと予測。
電力	2022年度は、電力会社の投資抑制や、燃料費高騰、材料・人員不足による工事延期により減と見込む。 2023年度は、材料・人員不足の懸念はあるが、設備更新、再エネ関連などの需要により増と予測。
電気機械	2022年度は、リモートワーク、巣ごもり需要の一段落、半導体不足などにより、減と見込む。 2023年度は、半導体不足の解消に不透明さは残るものの、家電・電子通信分野の需要はあるとして増と予測。
重電	経年設備の更新、再エネ関連の需要増により堅調に推移し、増と予測。
家電	在宅勤務、巣ごもり需要は見込めないものの、高機能家電需要などは堅調に推移し、横ばいと予測。
電子・通信	AI、IoT、医療関連、FA・ロボットなどの需要により、増と予測。
電装品	自動車生産台数の回復を見込み、増と予測。
自動車	2022年度は、COVID-19による中国ロックダウン、半導体不足による自動車の生産計画見直しが影響したが、増を見込む。 2023年度は、半導体不足や資材、輸送費高騰などの影響を受けるが回復基調が進み、増と予測。
建設・電販	2022年度は、首都圏を中心とする再開発案件、工場などの設備投資需要が伸びるも、コロナ禍の長期化に加え資材価格高騰、工事業者人員不足顕在化により、2021年度並みと見込む。 2023年度は、材料・人員不足から大きな伸びは見込めないものの、コロナ禍による工事延期の解消や、大型都市開発、工場建設、大阪・関西万博関連需要により増と予測。
その他内需	2022年度は、燃料・資材価格高騰により設備投資が抑えられ、減を見込む。 2023年度は、民間設備投資の回復を期待し、増と予測。
輸出	2022年度は、アジア向け電力用ケーブルの増加により、増と見込む。 2023年度は、半導体不足、資源高、為替変動による懸念材料はあるものの脱炭素に向けた自動車電動化、超高压送電線需要に期待し、増と予測。

(注)コメント中の増減は対前年度比をいう。(2022年度は2021年度実績比、2023年度は2022年度見込み比)

以上

2023年度電線需要見通し

(総括表)

2023年3月

単位:千トン

区分 年度		出荷			
		銅電線		アルミ電線	
		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
			(%)		(%)
2016(実績)		680.2	-2.7	28.4	8.9
2017(実績)		686.9	1.0	28.5	0.5
2018(実績)		697.8	1.6	29.9	5.0
2019(実績)		694.2	-0.5	31.0	3.6
2020(実績)		622.6	-10.3	31.9	2.8
2021(実績)		630.4	1.2	26.4	-17.0
2022 実績 見込み	上期	305.7	(0.1)	10.3	(-24.8)
	下期	321.0	(-1.3)	11.8	(-7.8)
	計	626.7	-0.6	22.1	-16.3
2023 見通し	上期	315	(3.0)	11	(6.8)
	下期	330	(2.8)	13	(10.2)
	計	645	2.9	23	4.1

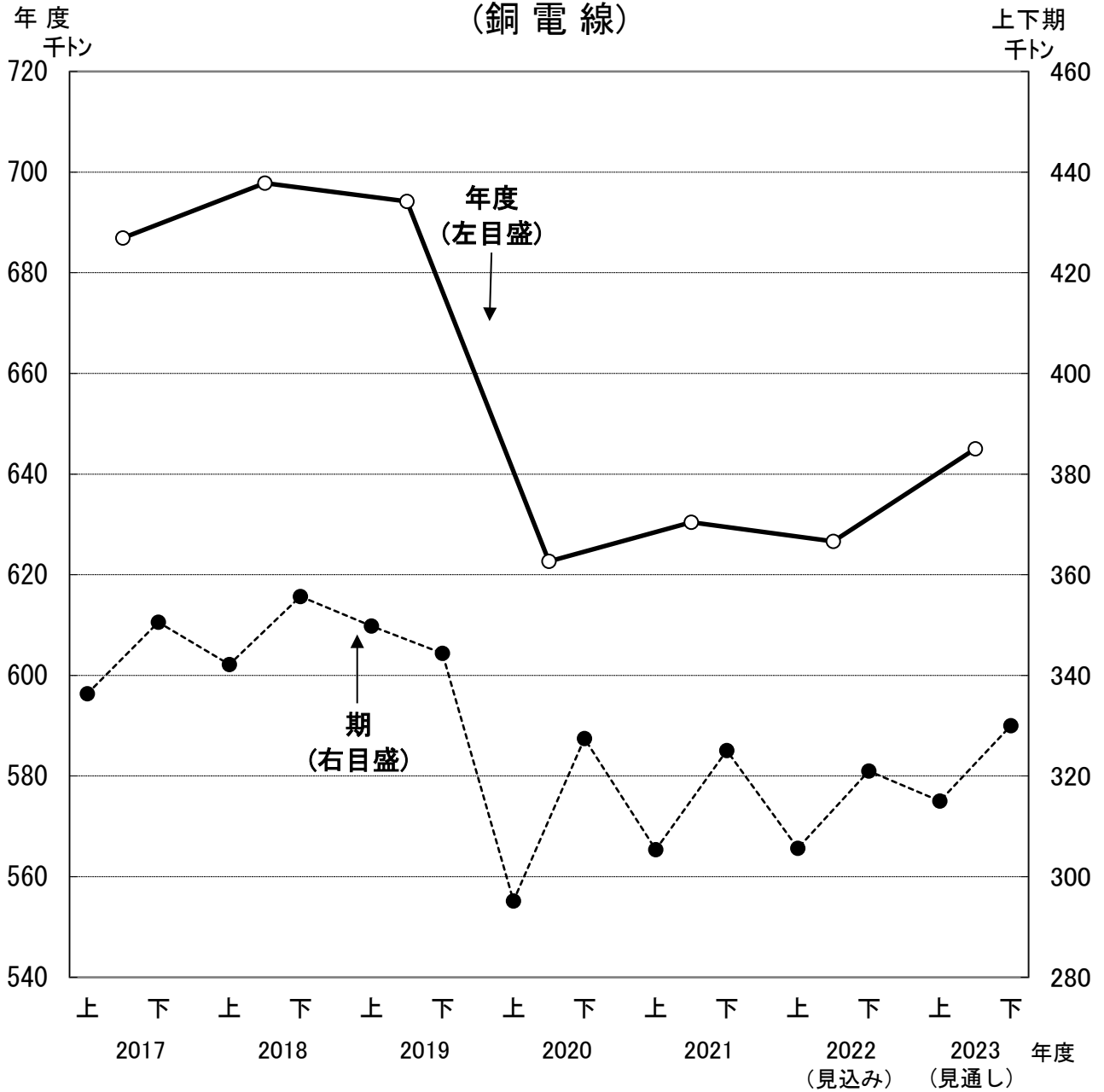
[KN230315]

- (注)1. ()内は前年同期比を示す。
2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。

図 1

出荷推移表 (銅電線)

2023年3月



2023年度電線需要見通し

(主要部門別)

2023年3月

単位:千トン

年度 期 部門	出 荷								
	2021 (実績)	2022(実績見込み)			22/21 (%)	2023(見通し)			23/22 (%)
		上期 (実績)	下期 (見込み)	計		上期	下期	計	
通 信	9.0	3.8	4.2	8.0	-11.1	4	4	8	0.0
	(14.9)	(7.0)	(7.6)	(14.6)	(-2.0)	(7)	(8)	(15)	(2.7)
電 力	47.2	20.9	22.1	43.0	-8.9	22	23	45	4.7
電気機械	136.6	65.7	67.7	133.4	-2.3	67	70	137	2.7
重電	20.2	/	/	20.2	0.0	/	/	21	4.0
家電	11.2	/	/	11.0	-1.8	/	/	12	9.1
電子・通信	28.7	/	/	28.4	-1.0	/	/	29	2.1
電装品	53.7	/	/	52.4	-2.4	/	/	53	1.1
その他	22.9	/	/	21.4	-6.6	/	/	22	2.8
自 動 車	83.9	40.3	45.2	85.5	1.9	44	46	90	5.3
建設・電販	298.1	144.2	154.6	298.8	0.2	148	156	304	1.7
その他内需	(5.8)	(3.1)	(3.5)	(6.6)	(13.8)	(3)	(4)	(7)	(6.1)
	42.2	20.4	19.9	40.3	-4.5	20	21	41	1.7
内 需 計	(20.7)	(10.0)	(11.1)	(21.1)	(1.9)	(10)	(12)	(22)	(4.3)
	617.1	295.2	313.7	608.9	-1.3	305	320	625	2.6
輸 出	(5.7)	(0.3)	(0.7)	(1.0)	(-82.5)	(1)	(1)	(1)	(0.0)
	13.3	10.4	7.3	17.7	33.1	10	10	20	13.0
合 計	(26.4)	(10.3)	(11.8)	(22.1)	(-16.3)	(11)	(13)	(23)	(4.1)
	630.4	305.7	321.0	626.7	-0.6	315	330	645	2.9

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[KN230315]

2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。